

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)

【公開番号】特開 2003-281498 (P2003-281498A)  
 【公開日】平成 15 年 10 月 3 日 (2003.10.3)  
 【出願番号】特願 2003-9622 (P2003-9622)  
 【国際特許分類第 7 版】  
     G 0 6 T     1/00  
 【F I】  
     G 0 6 T     1/00     2 0 0 E

【手続補正書】  
 【提出日】平成 17 年 2 月 22 日 (2005.2.22)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 6 0  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 6 0】

ファインスキャンは、可変絞り 2 4 の絞り値等の読取条件が設定されたファインスキャンの読取条件となる以外はプレスキャンと同様に行われ、イメージセンサ 3 4 からの出力信号はアンプ 3 6 で増幅されて、A / D 変換器 3 8 でデジタル信号とされ、処理装置 1 4 のデータ処理部 4 6 で処理されて、L o g 変換器 4 8 でファインスキャンデータとされ、ファインスキャンメモリ 5 2 に送られる。

ファインスキャンデータがファインスキャンメモリ 5 2 に送られると、ファインスキャン処理部 5 8 によって読み出され、処理部 6 6 において確定した画像処理条件で画像処理され、次いで、信号変換部 6 8 で変換されて出力用の画像データとされ、プリンタ 1 6 に出力され、この画像データを再生したプリントが作成される。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 7 1  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 7 1】

例えば、上述したような方法で、自動検索を行い、同時プリント時の画像処理条件が設定されると、次のステップ 1 5 0 において、再プリントの処理が行われる。

すなわち、このファインスキャン処理部 5 6 への画像処理条件の設定で、画像処理条件が確定し、ファインスキャンが開始される。あるいは、必要に応じて、同時プリントと同様に検定を行って、画像処理条件を確定してもよい。

ファインスキャンは、基本的に、同時プリントと同様に行われ、スキャナ 1 2 は、供給されたファインスキャンの読取条件の下、イメージセンサ 3 4 からの出力信号はアンプ 3 6 で増幅されて、A / D 変換器 3 8 でデジタル信号とされ、処理装置 1 4 のデータ処理部 4 6 で処理されて、L o g 変換器 4 8 でファインスキャンデータとされ、ファインスキャンメモリ 5 2 に送られ、記憶される。